# TITAN Noir
# TITAN Noir Pro
# TITAN Noir Max

取扱説明書

XGIMI

# XGIMI 製品をお買い上げいただき、

# 誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

このたびは、XGIMI Technology Co., Ltd.（以下「XGIMI」または「当社」）の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お客様に安全かつ正しく製品をご使用いただくため、ご使用前に本書をよくお読みください。 本書の指示に従わない不適切な取り扱いによって生じた人身傷害、財産、その他の損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 本書（取扱説明書）について

本書の著作権は当社に帰属します。 記載されている商標および商号は、各権利所有者に帰属します。 本書の内容が実際の製品と異なる場合は、製品の仕様を優先させていただきます。 本書の内容や条項についてご不明な点がある場合は、ご購入後 7 日以内に XGIMI まで書面にてお申し出ください。

## 本書に関するご注意（免責事項）

- 本書に記載のイラストや説明はイメージであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 製品の仕様やデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください
- ソフトウェアサービスは第三者により提供されるものであり、地域や通信環境、契約期間などの理由により、一部利用できない場合があります。これらは本製品の故障ではありません。詳細は各提供元へお問い合わせください。
- ソフトウェアの更新により、実際の画面や機能が本書の記載と異なる場合があります。

IMAX ENHANCED
Manufactured under license from IMAX Corporation. IMAX® is a registered trademark of IMAX Corporation in the United States and/or other countries. For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, DTS and the Symbol together are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and/or other countries. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

Dolby Vision
Dolby Audio
Dolby, Dolby Vision, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works.
Copyright © 1992–2025 Dolby Laboratories. All rights reserved.

dts X
For DTS patents, see http://xperi.com/dts-patents/. Manufactured under license from DTS, Inc. And its affiliates. DTS, DTS:X, the DTS:X logo, Virtual:X, and the DTS Virtual:X logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. And its affiliates in the United States and/or other countries.
© DTS, Inc. and its affiliates. All rights reserved.

HDMI®
HDMI High-Definition Multimedia interface and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

# 目次

目次 ..... 3
安全上のご注意 ..... 5
警告 ..... 5
電源 ..... 6
使用/設置 ..... 7
付属品 ..... 9
01 準備する ..... 10
使用上のご注意 ..... 11
製品用途 ..... 11
搬送時のご注意 ..... 11
設置時のご注意 ..... 11
セキュリティー ..... 12
保管 ..... 12
使用上のご注意 ..... 12
本機について ..... 14
付属品一覧 ..... 14
背面図 ..... 14
電源アダプターと電源コード ..... 14
リモコン ..... 15
02 ご使用の前に ..... 16
設置する ..... 17
設置方法 ..... 17
角度センサー ..... 18
投写画面サイズと投写距離 ..... 19
外部機器の接続 ..... 21
接続する前に ..... 21
機器の接続 ..... 30
03 基本操作 ..... 32
プロジェクターの電源を入れる ..... 33
電源コードを接続する ..... 33

電源インジケーター ..... 33
プロジェクターの初期設定 ..... 34
手動フォーカス調整 ..... 34
Wi-Fi に接続する ..... 34
プロジェクターの電源を切る ..... 35
電源を切る ..... 35
電源コードを抜く ..... 35
04 設定 ..... 36
信号源 ..... 37
ファイルマネージャー ..... 39
画面補正 ..... 42
明るさ・表示 ..... 44
ピクチャーモード ..... 46
プロフェッショナル設定について ..... 47
ゲームエンハンスモードについて ..... 49
ネットワーク ..... 53
Bluetooth とアクセサリー ..... 56
サウンド ..... 58
一般設定 ..... 60
05 お手入れ ..... 63
お手入れの前に ..... 64
お手入れ方法 ..... 64
故障かな？と思ったら ..... 64
06 付録 ..... 66
主な仕様 ..... 67
外形寸法 ..... 71
天吊り金具設置時の注意事項 ..... 72
RS-232C コマンド集 ..... 73

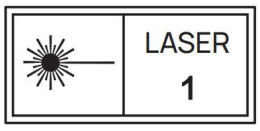
# 安全上のご注意

## 警告

- 本機をご使用の際は、必ず接地（アース）を行ってください。電源プラグの接地端子を取り外さないでください。本機には 3 極接地型の電源プラグが付属しており、このプラグは接地型の電源コンセントでのみ使用できます。これは安全のための機能です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気工事店にご相談ください。接地型プラグの機能を絶対に無効にしないでください。
- 火災や感電の原因となりますので、本機を雨に濡らしたり、湿気の多い場所に置いたりしないでください。
- 本機を長期間ご使用にならない場合は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 感電の原因となりますので、カバーを開けないでください。内部の点検や修理は、必ず専門のサービス担当者にご依頼ください。
- 電源プラグをコンセントから容易に抜くことができるよう、コンセントは本機の近くで、手の届きやすい場所に設置してください。
- 電波妨害（ノイズ）を防ぐため、同梱の設置説明書に従ってください。パソコンや周辺機器の接続には指定の 電源コードおよび接続ケーブルを使用してください。また、本機を無断で改造した場合、電波法等の法令に基づき、本機の使用が禁止されることがあります。プロジェクターの使用中はレンズの温度が高くなります。レンズの前を遮らないでください。
- 使用中はレンズが高温になります。投写光を遮るような物を置かないでください。熱によりレンズが損傷したり、火災の原因となったりする恐れがあります。
- 投写中は、レンズから出る強い光を絶対にのぞき込まないでください。視力を損なう原因となります。
- 当社指定の付属品、または同梱品のみを使用してください。



RG2




CONSUMER LASER PRODUCT
EN 50689:2021

IEC 60825-1:2014

# 電源

万一の異常に備え、コンセントやブレーカーは本機の近くの手の届きやすい場所に設置してください。以下のような異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電、視力障害の原因となります。

- 内部に異物や水が入った場合は、電源を切ってください。
- 本機を落としたり、カバーが破損したりした場合は、電源を切ってください。
- 煙が出ている、異臭や異常音がするなどの場合は、電源を切ってください。修理は必ず専門のサービス担当者にご依頼ください。お客様自身での修理は絶対に行わないでください。

雷雨のときは、本機やケーブルに触れないでください。感電の原因となります。

電源コードや電源プラグを傷つけないでください。傷んだ電源コードを使用すると、感電やショート、火災の原因となります。

- 電源コードを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねる、熱器具に近づける、重いものをのせるなどの行為は絶対にしないでください。
- 修理が必要な場合は、必ず専門のサービス担当者にご依頼ください。

付属の電源コード以外は絶対に使用しないでください。感電や火災の原因となります。注意：規定の電源コードを使用し、規格に適合した電源コンセント側の設備で正しくアース（接地）を行わないと、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントに確実に差し込み、もう一方のプラグも本機の電源差し込み口に確実に差し込んでください。電源プラグが正しく差し込まれていないと、感電や発熱の原因となります。

- 破損した電源プラグや、緩んだコンセントは使用しないでください。

濡れた手で電源プラグやコネクターに触れないでください。感電の原因となります。

コンセントの定格を超えて使用しないでください。タコ足配線などで定格容量を超えると、発熱や火災の原因となります。

電源プラグは定期的に清掃し、ホコリがたまらないようにしてください。ホコリがたまると、火災の原因となります。

- 電源プラグにたまったホコリが湿気を帯びると、絶縁不良の原因となります。
- 長期間本機を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください；
- 定期的に電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭いてください。。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに必ず電源プラグやコネクターを持って抜いてください。コードが破損し、火災やショート、感電の原因となります。

# 使用/設置

本機を、湿気やホコリの多い場所、油煙や湯気が当たる場所に設置しないでください。

- そのまま使用を続けると、火災や感電、部品の劣化の原因となります。
- 油成分による汚れはプラスチックを損なう原因となり、特に天吊り設置時などは本機が落下する恐れがあります。

本機を高温になる場所に置かないでください。カバーや内部部品の劣化、または火災の原因となります。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くに設置する場合は、特にご注意ください。

塩害の恐れがある場所や、腐食性ガスの発生する場所に本機を設置しないでください。腐食により落下の恐れがあります。また、故障の原因となります。

本機をじゅうたんやスポンジマットなどの柔らかい物の上に置かないでください。内部に熱がこもり、発煙や火災、故障の原因となります。

本機の質量に耐えられない強度の不足した場所や、傾いた場所、不安定な場所に設置しないでください。本機が落下または倒れて、けがや故障の原因となります。

通路など人の往来がある場所への設置は避けてください。本機に接触したり、電源コードに足を引っかけたりして、火災や感電、けがの原因となります。

吸気口や排気口をふさいだり、その周囲 500mm 以内に物を置いたりしないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

- 本機を、狭い場所や換気の悪い場所に置かないでください。
- テーブルクロスや紙など、吸気口に吸い込まれやすい物のうえに本機を置かないでください。

本機の上に重い物を置かないでください。不安定になって落下を招き、けがの原因となります。また、本機の破損や変形の原因となります。

本機の上に座らないでください。転落してけがをしたり、本機が破損してけがの原因となります。

本機の使用中は、レンズから出る光を直視したり、皮膚や衣服に光を当てたりしないでください。投写光の中に光学機器（虫眼鏡や鏡など）を入れないでください。やけどや視力障害の原因となります。

- 特にお子様がレンズをのぞき込まないよう注意してください。その場を離れるときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 投写中はレンズの前に物を置かないでください。物品の破損や、本機の機能故障の原因となります。

本機を移動するときは、必ずすべてのケーブルを取り外してください。ケーブルを取り外さずに本機を移動

すると、ケーブルが破損し、火災や感電の原因となります。

本機を分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店または指定のサービスセンターへご相談ください。

本機の内部に、金属類や燃えやすいもの、液体を入れないでください。本機を濡らさないでください。ショートや異常発熱により、火災や感電、本機の故障の原因となります。

- 本機の近くに、液体の入った容器や金属類を置かないでください
- 万一、本機の内部に液体が入ったときは、指定のサービスセンターにご相談ください。
- お子様の近くで使用するときは、特に注意してください。

**XGIMI 指定の天吊り金具を使用してください。**指定以外の金具を使用すると、本機が落下する原因となります。

- 本機を天井に取り付けるときは、取付ネジや電源コードが天井裏の金属部材に触れないようにしてください。天井裏の金属部材に触れると、感電の原因となります。

天井への取り付けなどの設置工事は、専門の技術者に依頼してください。落下によるけがや感電の原因となります。

本機の底部には通気口があります。平らな場所に設置するときは、付属のスタンドを外さないでください。通気口がふさがり、本機が過熱して故障の原因となります。

# 付属品

電池は正しく使用し、取り扱いについては以下の説明に従ってください。

液漏れ、発熱、破裂、発火により、やけどや火災の原因となります。

- 指定の電池を使用してください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 乾電池を分解しないでください。
- 電池を加熱したり、水に入れたり、火の中に投げ入れたりしないでください。
- ＋ と － を、ネックレスやヘアピンなどの金属類で接続しないでください。
- 金属類と一緒に電池を持ち運んだり保管したりしないでください。
- 電池を保管するときは、ポリ袋などに入れて絶縁してください。
- 電池を入れるときは、 ＋ と － の向きを正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池、または種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 外装フィルムが剥がれたり、破れたりしている電池は使用しないでください。

電池が液漏れしたときは、漏れた液に素手で触れないで、すぐに次の処置をしてください。

- 漏れた液が皮膚や衣服に付着すると、皮膚の炎症やけがの原因となります。すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 漏れた液が目に入ると、失明の原因となります。この場合、目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

お子様の手の届かないところに保管してください。付属品をお子様が誤って飲み込むと、けがや窒息の原因となります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

消耗した電池は、お早目にリモコンから取り出してください。消耗した電池をリモコンに入れたまま放置すると、液漏れや発熱、破裂の原因となります。

# 01 準備する

**プロジェクターを使用する前に知っておいていただきたいことや、確認事項について説明します。**

- 使用上のご注意
- プロジェクターについて
- プロジェクターの準備

# 使用上のご注意

## 製品用途

本機は、映像機器やパソコンからのビデオ信号をスクリーンなどに投射し、静止画や動画を表示するためのものです。

## 搬送時のご注意

- 本機を搬送するときは、底面をしっかりと持ってください。落としたり倒したりすると、本機の破損や変形、またはけがの原因となります。
- 本機を移動するときは、過度な振動や衝撃を与えないでください。内部の部品が破損し、故障の原因となります。

## 設置時のご注意

**本機は室内専用に設計されています。**屋外には設置しないでください。

**次のような場所には設置しないでください。**

- 自動車内など、振動や衝撃を受ける場所：内部の部品が破損し、故障の原因となります。
- 海辺や腐食性ガスの発生する場所：本機が腐食して落下する原因となります。また、部品の寿命が短くなったり、故障の原因となります。
- エアコンの吹き出し口付近：ご使用の環境によっては、エアコンや他の機器からの排気（冷暖房の風など）の影響により、投写映像に揺らぎが生じることがあります。本機の前面にこれらの風が直接当たらないように設置してください。
- 温度変化の激しい場所（スタジオ用照明器具の近くなど）：光源の寿命が短くなったり、熱による本機の変形や故障の原因となります。本機の動作環境温度の範囲内で使用してください。
- 高圧電線やモーターの近く：電磁ノイズなどにより、本機が正常に動作しない原因となります。
- 高出力レーザー機器のある場所：プロジェクターレンズにレーザー光が当たると、DLP チップが破損する原因となります。

天吊り設置や高所への設置は、必ず専門の技術者に依頼してください。本機の性能と安全性を確保するた

め、専門知識を持つ技術者が作業を行う必要があります。

周囲温度が 40° C を超える場所では使用しないでください。高地や周囲温度が非常に高い場所で使用すると、部品の寿命が短くなったり、故障の原因となります。

# セキュリティー

本機をご使用になるときは、次のトラブルに対するセキュリティー対策を行ってください。

- 本機に登録された個人情報の漏えい
- 悪意のある第三者による、本機の不正操作
- 悪意のある第三者による、本機への妨害や通信遮断

セキュリティー対策を十分に行ってください（例：ネットワーク配信機能、Web 管理画面など）。

- 推測されにくいパスワードを設定すること。
- パスワードは定期的に変更すること。
- XGIMI またはその関連会社が、お客様に直接パスワードをお尋ねすることは絶対にありません。万一、このような要求や連絡があっても、パスワードは絶対に開示しないでください。
- ネットワークに接続するときは、必ずファイアウォールなどによる保護を行ってください。

# 保管

本機を保管するときは、湿気の少ない場所に保管してください。

# 使用上のご注意

## 高画質な映像を楽しむために

視聴環境を整えることで、よりコントラストの高い鮮明な映像が得られます。窓のカーテンやブラインドを閉め、スクリーンの近くの照明を消して、外光や室内灯の光がスクリーンに直接当たらないようにしてください。

## レンズの取り扱いについて

レンズの表面に直接手で触れないでください。レンズの表面に指紋などの汚れが付着すると、投写映像に影が映り込んだり、映像が不鮮明になる原因となります。

## DLP チップ

高出力のレーザー光線がレンズの表面に当たると、DLP チップが破損する原因となります。

本機の動作中は、移動させたり、振動や衝撃を与えたりしないでください。内蔵モーターの寿命が短くなる原因となります。

## 光源

本機の光源にはレーザーダイオードが使用されており、次の特性があります。

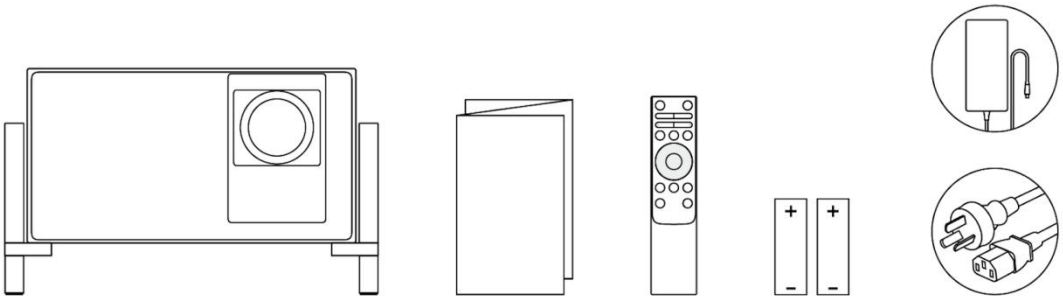
- 周囲温度により光源の輝度は低下します。温度が高くなるほど、輝度の低下は早まります。
- 光源の輝度は、使用時間の経過とともに低下します。輝度が著しく低下した場合や、光源が点灯しない場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーサポートにご相談ください。

## パソコンや外部機器との接続

パソコンや外部機器を接続するときは、本書の電源コードおよびシールドケーブルの使用に関する記述をよくお読みください。

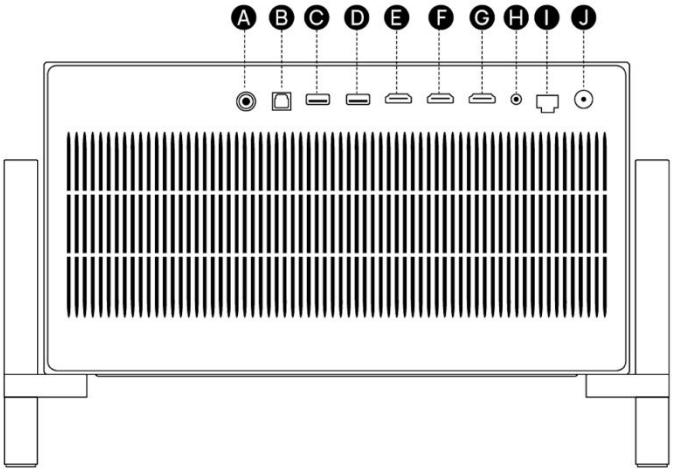
# 本機について

## 付属品一覧



## 背面図

Ⓐ DC IN
Ⓑ OPTICAL
Ⓒ USB 2.0*
Ⓓ USB 3.0*
Ⓔ HDMI 1/ eARC
Ⓕ HDMI 2
Ⓖ HDMI 3
Ⓗ AUDIO
Ⓘ LAN
Ⓙ POWER



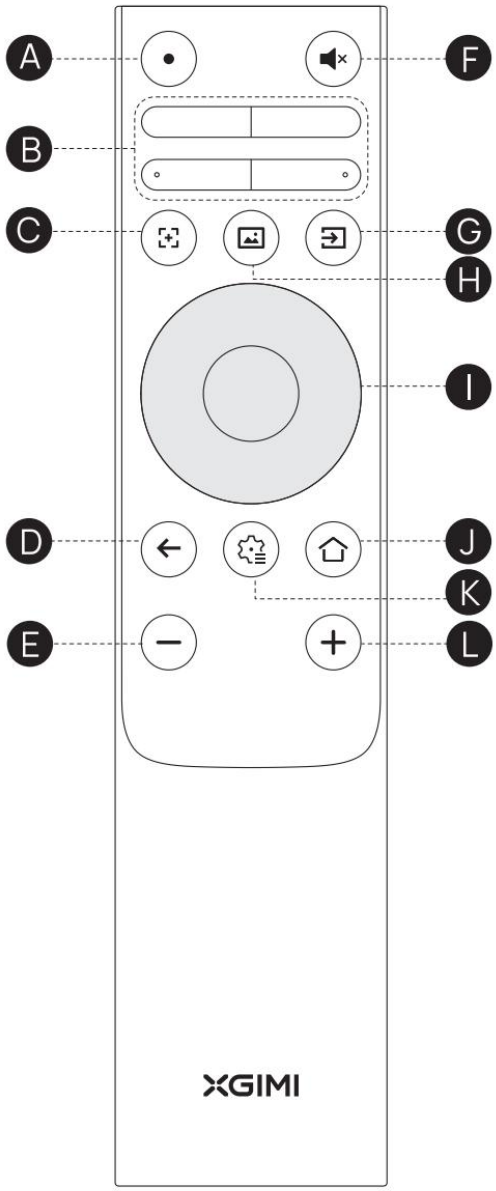

## 電源アダプターと電源コード

本機には、お使いの国（地域）の安全規格に適合した電源アダプターと電源コードが付属しています。

付属の電源アダプターと電源コードセット以外は絶対に使用しないでください。

本機は、必ずアース端子付きのコンセントに接続してください。

# リモコン




Ⓐ 電源ボタン
Ⓑ ショートカット
Ⓒ フォーカス
Ⓓ 戻るボタン
Ⓔ 音量ダウン
Ⓕ ミュートボタン
Ⓖ ソースボタン
Ⓗ ピクチャーモード
Ⓘ ナビゲーショ
Ⓙ ホーム
Ⓚ 設定
Ⓛ 音量アップ

# 02 ご使用の前に

**プロジェクターをご使用になる前に必要な設置や接続について説明します。**

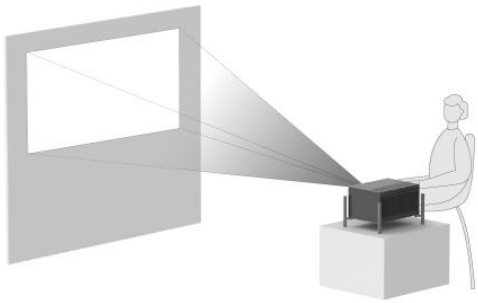
- 設置する
- 接続する

# 設置する

## 設置方法

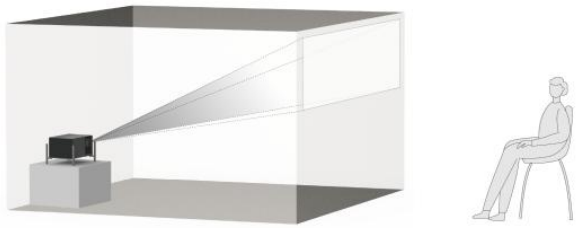
本機の設置方法は次のとおりです。投写スタイルに合わせて、【設定】>【画面補正】>【投影方式】から、【自動 / フロント / 天吊り】【リア オン / オフ】を設定してください。

卓上 / フロア設置（フロント投影）



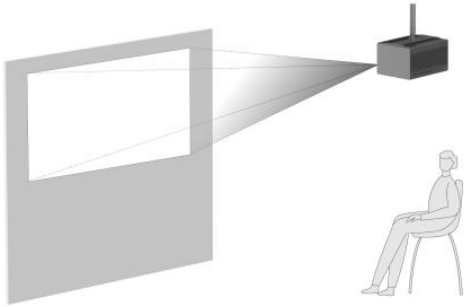
| Settings | Option |
|---|---|
| Rear | Off |
| Auto/<br>Front/<br>Ceiling | Auto または Front |

卓上 / フロア設置（リア投影、半透明スクリーン使用）



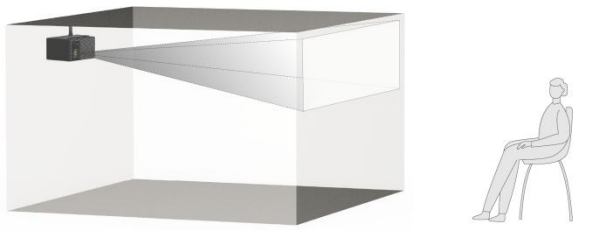
| Settings | Option |
|---|---|
| Rear | On |
| Auto/<br>Front/<br>Ceiling | Auto または Front |

天吊り設置（フロント投影）



| Settings | Option |
|---|---|
| Rear | Off |
| Auto/<br>Front/<br>Ceiling | Auto または Ceiling |

天吊り設置（リア投影、半透明スクリーン使用）



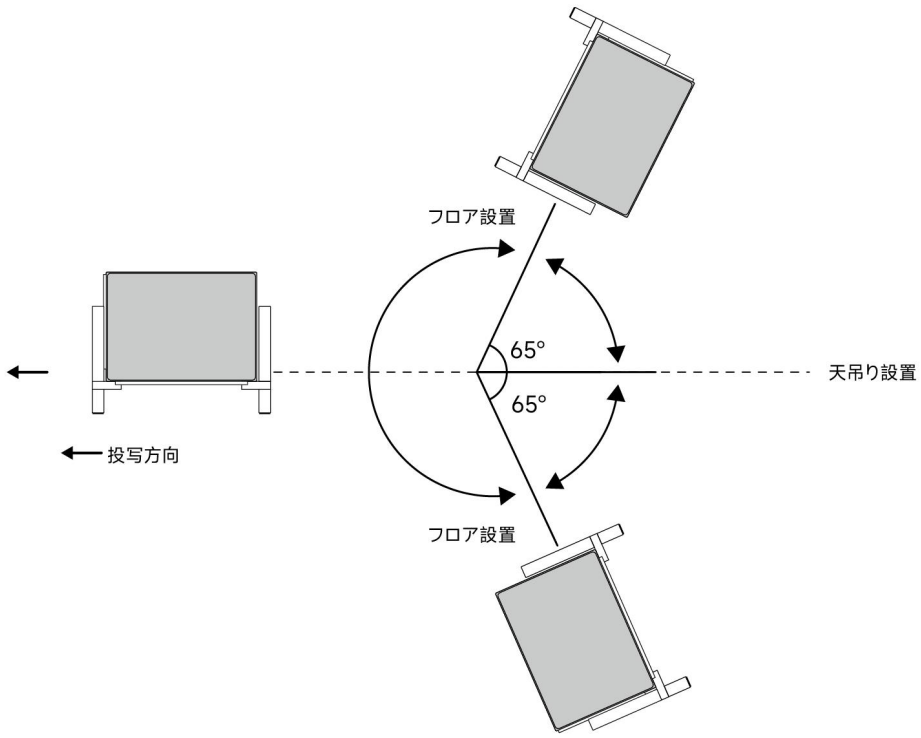
| Settings | Option |
|---|---|
| Rear | On |
| Auto/<br>Front/<br>Ceiling | Auto または Ceiling |

## 角度センサー

図のように、本機に内蔵された角度センサーは、以下の範囲内で設置姿勢を検出します。

据え置き：本機を水平に正しく置いた位置を基準（0°）とした±115°の範囲

天吊り：本機を水平に逆さにして置いた位置を基準（0°）とした±65°の範囲



# 投写画面サイズと投写距離

投写画面サイズと投写距離を参考に、本機を設置してください。スクリーンの大きさや位置に合わせて、投写映像のサイズと位置を調整できます。

注意

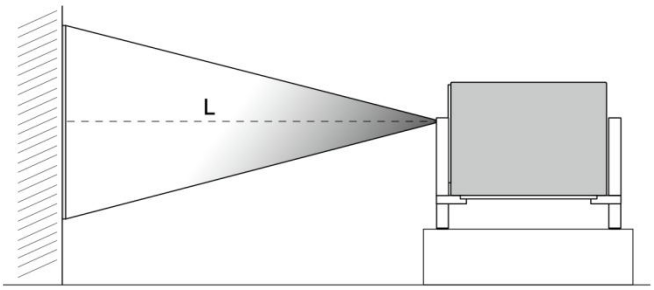
- 設定する前に、必ず「安全上のご注意」をお読みください。
- 本機を設置する際は、背面がスクリーンと平行になるように配置すると、投写画面が長方形になります。
- 本機と同じ部屋で高出力のレーザー機器を使用しないでください。レーザー光線が投写レンズの表面に当たると、DLP チップが破損する恐れがあります。

投写画面と投写距離

本機の投写レンズ面が投写壁面に対して垂直（正対）になるように設置して、歪みのない投写画面に調整してください。投写距離とズームの関係は、以下の計算式のとおりです。

投写比=投写距離（L）/画面幅（SW）




| 16:9 画面サイズ | | | 投写距離 | |
|---|---|---|---|---|
| 型 | 幅(mm) | 高(mm) | 最短(mm) | 最长(mm) |
| 80 | 1771 | 996 | 1736 | 3542 |
| 90 | 1992 | 1121 | 1952 | 3984 |
| 100 | 2214 | 1245 | 2170 | 4428 |
| 110 | 2435 | 1370 | 2386 | 4870 |
| 120 | 2657 | 1494 | 2604 | 5314 |
| 130 | 2878 | 1619 | 2820 | 5756 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 140 | 3099 | 1743 | 3037 | 6198 |
| 150 | 3321 | 1868 | 3255 | 6642 |
| 200 | 4428 | 2491 | 4339 | 8856 |

ヒント：イラストのように、投写画面のサイズと位置をスクリーン全体にぴったり合わせてください。なお、投写距離（L）は本機の設置位置からではなく、レンズ面からスクリーンまでの距離のことです。

# 外部機器の接続

## 接続する前に

- 接続する外部機器の取扱説明書をよくお読みください。
- すべての機器の電源を切ってください。
- 以下の点に注意してください。指示に従わない場合、故障の原因となることがあります。
  - 近くの金属部に触れて身体の静電気を逃がしてください。
  - 必要以上に長いケーブルを使用しないでください。長すぎたり、巻いた状態のまま使用したりすると、ノイズの影響を受けやすくなります。
- 接続ケーブルが付属品や別売品にない場合は、本機と接続するために必要な市販のケーブルを別途ご用意ください。
- 映像出力設定の変更などによって、パソコンやビデオ機器からの同期信号が途切れた場合、投写画面の色が一時的に乱れることがあります。
- 本機は HDMI デジタル信号を受信できます。
- パソコンの機種やグラフィックボードによっては、本機と互換性がない場合があります。
- 本機で利用可能なビデオ信号の詳細は、下記の仕様表をご参照ください。

対応動画フォーマット

| 動画コーデック | 最大解像度 / フレームレート | 最大ビットレート | ファイル形式 |
|---|---|---|---|
| VP9 | 4096x2304@60fps<br>1920x1080@120fps | 100Mbps | .mkv.webm |
| HEVC/H.265 | 4096x2304@60fps<br>1920x1080@120fps | 100Mbps | .mp4.mov<br>.3gpp.3gp<br>.ts.trp.tp<br>.mkv<br>.flv<br>.avi |

| | | | |
|---|---|---|---|
| MPEG1/2 | MPEG1: 720x576@30fps<br>MPEG2: 4096x2304@30fps<br>1920x1080@120fps | 60Mbps | .DAT.VOB.MPG.MPEG<br>.ts.trp.tp<br>.mp4.mov<br>.3gpp.3gp<br>.avi<br>.mkv<br>.asf<br>.wmv<br>.ogm |
| MPEG4 | 1920x1080@60fps | 60Mbps | .mp4.mov<br>.3gpp.3gp<br>.avi<br>.mkv<br>.asf<br>.wmv<br>.flv<br>.ogm<br>.ts.trp.tp<br>.DAT.VOB.MPG.MPEG |
| H.263 | 1920x1080@60fps | 60Mbps | .flv<br>.avi |
| H.263 | 1920x1080@60fps | 60Mbps | .flv<br>.mp4.mov<br>.3gpp.3gp<br>.avi<br>.asf<br>.wmv |
| AVC/H.264 | 4096x2304@60fps<br>1920x1080@120fps | 135Mbps | .flv<br>.mp4.mov |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | .3gpp.3gp<br>.ts.trp.tp<br>.asf<br>.wmv<br>.avi<br>.mkv<br>.ogm<br>.DAT.VOB.MPG.MPEG<br>.264 |
| AVS | 1920x1080@60fps | 60Mbps | .ts.trp.tp |
| AVS+ | 1920x1080@60fps | 60Mbps | .ts.trp.tp |
| AVS2 | 4096x2304@60fps<br>1920x1080@120fps | 100Mbps | .ts.trp.tp |
| AVS3 | 4096x2304@60fps<br>1920x1080@120fps | 100Mbps | .ts.trp.tp |
| WMV3 | 1920x1080@60fps | 60Mbps | .asf<br>.avi<br>.mkv<br>.wmv<br>.3gpp.3gp<br>.mp4.mov<br>.ogm |
| VC1 | 1920x1080@60fps | 60Mbps | .ts.trp.tp<br>.asf<br>.wmv<br>.avi<br>.mkv<br>.3gpp.3gp |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | .mp4.mov |
| Motion JPEG | 1920x1080@60fps | 80Mbps | .avi<br>.3gpp.3gp<br>.mp4.mov<br>.mkv<br>.flv<br>.ogm<br>.asf<br>.wmv |
| VP8 | 1920x1080@60fps | 40Mbps | .mkv<br>.webm<br>.flv<br>.3gpp.3gp<br>.mp4<br>.mov<br>.avi<br>.ogm |
| RV30/RV40 | 1920x1080@60fps | 60Mbps | .rm.rmvb<br>.mkv |
| AV1 | 4096x2304@60fps<br>1920x1080@120fps | 100Mbps | .mp4.mov<br>.3gpp.3gp<br>.mkv<br>.webm |
| VVC/H.266 | 4096x2304@60fps<br>1920x1080@120fps | 100Mbps | .mp4.mov<br>.3gpp.3gp<br>.ts.trp.tp |

- 本機で利用可能な音声信号の詳細は、下記の仕様表をご参照ください

音声コーデック

| 音声コーデック | チャンネル数 | 最大ビットレート | ファイル形式 |
|---|---|---|---|
| MPEG1/2<br>Layer1 | 最大 2ch | 32Kbps ~ 448Kbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp<br>.mkv<br>.flv<br>.avi<br>.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG<br>.asf<br>.wmv<br>.ogm<br>.mp3<br>.wav |
| MPEG1/2<br>Layer2 | 最大 2ch | 8Kbps ~ 384Kbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp<br>.mkv<br>.flv<br>.avi<br>.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG<br>.asf<br>.wmv<br>.ogm<br>.mp3<br>.wav |
| MPEG1/2/2.5<br>Layer3 | 最大 2ch | 8Kbps ~ 320Kbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | .mkv<br>.flv<br>.avi<br>.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG<br>.asf<br>.wmv<br>.ogm<br>.mp3<br>.wav |
| AC3(DD) | 最大 5.1 | 32Kbps ~ 640Kbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp<br>.mkv<br>.avi<br>.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG<br>.asf<br>.wmv<br>.ogm<br>.ac3 |
| EAC3(DDP) | 最大 5.1 | 32Kbps ~ 6Mbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp<br>.mkv<br>.avi<br>.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG<br>.asf<br>.wmv<br>.ogm<br>.ec3 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| AAC-LC,<br>HEAAC | 最大 5.1 | AAC-LC: 12Kbps~ 576Kbps<br>V1: 6Kbps ~ 288Kbps<br>V2: 3Kbps ~ 144Kbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp<br>.mkv<br>.flv<br>.avi<br>.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG<br>.asf<br>.wmv<br>.ogm<br>.wav<br>.aac<br>.rm, .rmvb |
| WMA | 最大 2 | 128Kbps ~ 320Kbps | .mkv<br>.avi<br>.asf<br>.wmv |
| WMA 10 Pro<br>M0 | 最大 2 | < 192Kbps | .avi<br>.asf<br>.wmv |
| WMA 10 Pro<br>M1 | 最大 5.1 | < 384Kbps | .avi<br>.asf<br>.wmv |
| WMA 10 Pro<br>M2 | 最大 5.1 | < 768Kbps | .avi<br>.asf<br>.wmv |
| VORBIS | 最大 2 | | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.mkv |

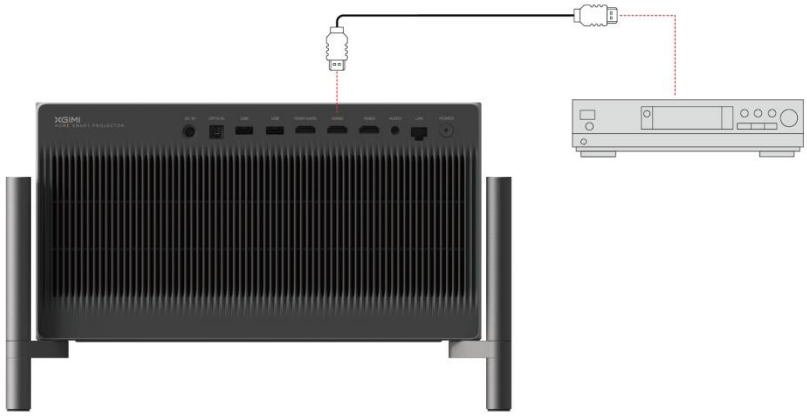
| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | .avi<br>.asf<br>.wmv<br>.ogg<br>.webm |
| DTS Core | 最大 5.1 | <1.5Mbps (Pure DTS core) | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp<br>.mkv<br>.avi<br>.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG<br>.ogm<br>.wav<br>.dts |
| DTS LBR | 最大 5.1 | 最大 2 Mbps（DTS LBR のみ） | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp |
| DTS XLL | 最大 6 | Up to 24.537Mbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp |
| LPCM | モノラル、ステレオ、5.1ch | 64Kbps ~ 1.5Mbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp<br>.mkv<br>.flv<br>.avi<br>.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG<br>.asf<br>.wmv |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | .ogm<br>.wav |
| IMA-ADPCM<br>MS-ADPCM | 最大 2 | 32Kbps ~ 384Kbps | .mkv<br>.avi<br>.ogm<br>.wav |
| G711 A/mu-law | 1 | 64Kbps | .mkv<br>.flv<br>.avi<br>.wav |
| LBR (cook) | 最大 5.1 | 6Kbps ~ 128Kbps | .rm, .rmvb |
| FLAC | 最大 2 | < 1.6Mbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.mkv<br>.flac |
| OPUS | 最大 6 | 6Kbps ~ 510Kbps | .mkv<br>.ogg<br>.webm |
| AC4 | 最大 5.1 (MS12 v1.x)<br>最大 7.1 (MS12 v2.x) | 最大 1521 kbps（1 ストリームあたり） | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.ts, .trp, .tp<br>.ac4 |
| Fraunhofer<br>MPEG-H TV<br>Audio System | 最大 16 コア ch<br>最大 5.1ch 出力 | ~1.2 Mbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp |
| AMR-NB | 1 | 4.75Kbps ~ 12.2Kbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.mkv |

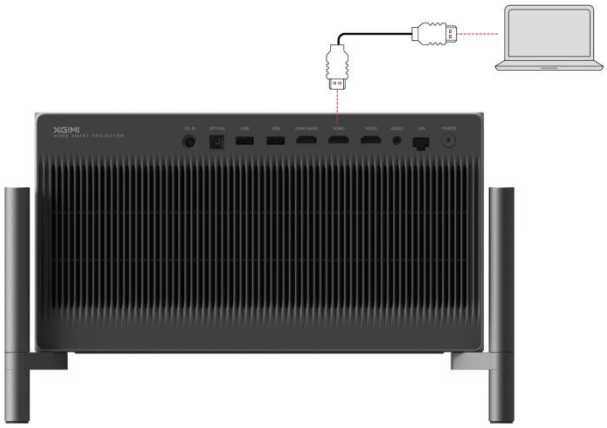
| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | .avi<br>.webm |
| AMR-WB | 1 | 6.6Kbps ~ 23.85Kbps | .mp4, .mov<br>.3gpp, .3gp<br>.mkv<br>.avi<br>.webm |
| DRA | 最大 7.1 | < 6Mbps | .ts, .trp, .tp |

## 機器の接続

接続例：HDMI で AV 機器と接続する



接続例：HDMI でパソコンと接続する



ヒント：

- HDMI で外部機器を接続するときは、【設定】>【入力切替】から入力を切り替えてください。

HDMI High Speed 規格を超える映像信号を入力する場合は、18 Gbps の高速転送に対応したケーブルを使用してください。対応していないケーブルを使用すると、映像が途切れたり、正しく投写されなかったりすることがあります。

# 03 基本操作

本章では、基本的な操作について説明します。

- プロジェクターの電源を入れる
- プロジェクターの初期設定

# プロジェクターの電源を入れる

## 電源コードを接続する

### 電源コードの取り付け方法

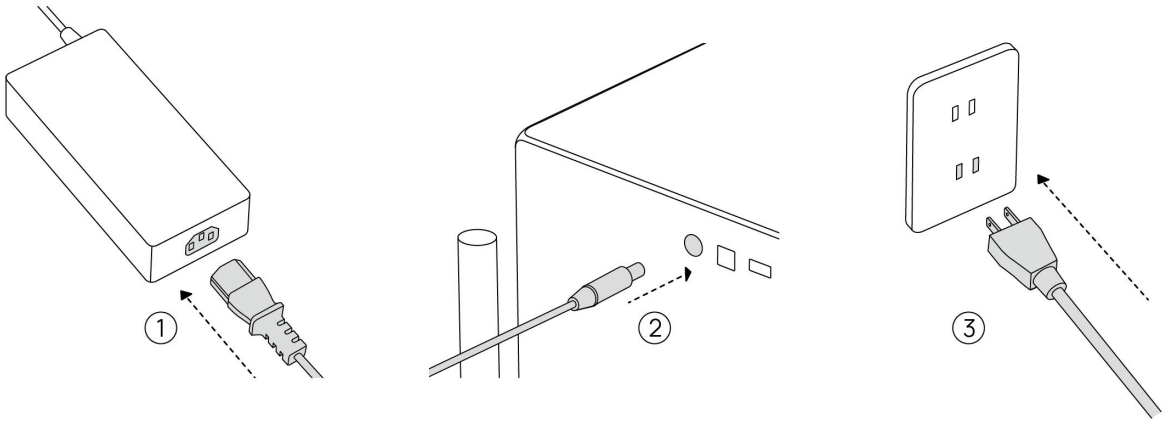
電源コードを電源アダプターに、奥まで確実に差し込みます。

本機の電源端子と電源コードのコネクターの形状を確認し、向きを合わせて接続します。

電源コードが本機から簡単に抜けないように、しっかりと固定されていることを確認してください。

電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源コードの取り扱いについては、「安全上のご注意（電源）」をご参照ください。




## 電源インジケーター

通常の操作時におけるインジケーターの状態は下記の通りです。

電源コード接続時：通電すると点灯し、システムが起動してスタンバイになると消灯します。

起動中：ホーム画面または初期設定ウィザードが表示されるまで点灯し、その後に消灯します。

USB アップデート（電源オフ）：本体の電源ボタンを 6 秒間長押しすると、インジケーターが 2 秒間速く点滅した後に点灯へ変わります。ファームウェアアップデートが完了すると起動処理へ移行して点灯を続け、起動処理が終了してホーム画面が表示されると消灯します。

投写モード > 電源オフ：消灯から点灯へ変わり、ファンが停止すると消灯します。

# プロジェクターの初期設定

ご購入後に初めて電源を入れたときは、初期設定ウィザード画面が表示されます。

また、【設定】>【デバイス環境設定】>【初期化】を実行したときも、初期設定画面が表示されます。

## 手動フォーカス調整

画面が鮮明に表示されるようにフォーカスを調整します。

【手動フォーカス】を選択します。フォーカスパターンが表示されたら、リモコンの左右ボタンを押してピントを調整します。

【次へ】を選択し、初期設定を続けます。

## Wi-Fi に接続する

接続する Wi-Fi ネットワークを選択します（パスワードの入力が必要な場合があります）。また、【手動でネットワークを追加】を選択し、SSID とパスワードを入力して接続することもできます。

接続が完了すると、ホーム画面が表示されます。

# プロジェクターの電源を切る

電源を切る

本機またはリモコンの電源ボタンを押すと、画面に【電源オフの選択】の確認画面が表示されます。

【方向ボタン】を押して、メニューから＜電源オフ＞を選択します（または、もう一度電源ボタンを押します）

投写が停止し、本機の電源インジケーターが白く点灯します（この間、ファンは回転し続けます）

数秒後、電源インジケーターが白から消灯に変わり、本機がスタンバイ状態になると電源オフは完了です。

その後、電源プラグをコンセントから抜きます。

ヒント

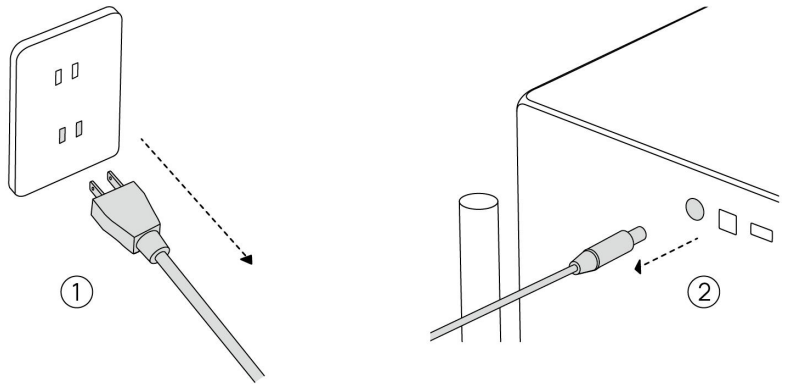
•本機はスタンバイ状態でも少量の電力を消費します。

## 電源コードを抜く

**電源コードの取り外し方法**

電源プラグを持ってコンセントから抜いて、本機の電源を完全に切ります。

電源コードのコネクターを持ち、本機の電源端子から引き抜きます。



# 04 設定

## 各設定項目について説明します。

- 信号源
- 画面補正
- 明るさ・表示
- ネットワーク
- Bluetooth とアクセサリー
- サウンド
- 一般設定

# 信号源

| 設定項目 | 設定値 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| HDMI 1 | - | HDMI 1 の入力信号に切り替えます。 |
| HDMI 1 設定 | ピクチャーモード | HDMI 1 の画質モードを調整します。詳細は【明るさ・表示】>【ピクチャーモード】をご参照ください。 |
| | ゲームエンハンスモード | ゲームエンハンスモードの設定を行います。詳細は【明るさ・表示】>【ゲームエンハンスモード】をご参照ください。 |
| | 3D 設定 | 3D 表示に関する設定を行います。詳細は【明るさ・表示】>【3D 設定】をご参照ください。 |
| | HDMI アスペクト比 | 画面アスペクト比<br>自動（デフォルト）<br>入力信号の解像度とアスペクト比に応じて最適な画面比率に自動で合わせ、画像の引き伸ばしや圧縮による歪みを防ぎます。<br>4:3<br>4:3 の画面比率に固定します。従来のアナログテレビ番組やレトロゲームなどの映像に適しています。<br>16:9<br>16:9 のワイド画面に固定します。現在の高画質テレビ番組や、多くの映画コンテンツに適しています。 |

| | | |
|---|---|---|
| | | オリジナル比<br>入力信号のオリジナル比率のまま表示します。（画面の上下左右に黒帯が表示される場合があります）。<br>ヒント：入力信号のアスペクト比が、本機で設定している HDMI のアスペクト比と異なる場合、画像が引き伸ばされたり圧縮されたりして歪むことがあります。 |
| | カラーレンジ | 入力信号に合わせてカラーレンジを切り替え、色を正しく表示できるようにします。<br>自動（デフォルト）<br>本機が HDMI 入力信号のタイプを自動で判別し、最適なカラーレンジ（フルまたはリミテッド）に切り替えて、色が正しく表示されるようにします。<br>フル<br>0～255 のフルレンジ信号を出力し、より豊かな色彩と明暗の階調を表示できます。<br>制限<br>16～235 のリミテッドレンジ信号を出力し、黒レベルと白レベルの範囲が狭くなります。テレビ放送や映像配信などの規格に適合します。 |
| | HDMI モード | 入力信号に合わせて HDMI モードを切り替え、映像が正しく表示されるようにします。<br>互換モード<br>4K@30Hz 以下の入力信号に適しています。拡張モードで映像が出ない場合や、表示に異常がある場合はこの項目を選択してください。 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 強調モード<br>4K@30Hz 以上の入力信号に適しています。また、eARC 出力を使用する場合に選択してください。 |
| HDMI 2 | - | HDMI 2 の入力信号に切り替えます。 |
| HDMI 2 設定 | HDMI 1 設定と同様 | HDMI 1 設定と同様 |
| HDMI 3 | - | HDMI 3 の入力信号に切り替えます。 |
| HDMI 3 設定 | HDMI 1 設定と同様 | HDMI 1 設定と同様 |
| ファイルマネージャー | - | ファイルマネージャーを開き、内蔵ストレージや外部接続機器内のファイルを確認します。 |
| CEC コントロール | オン<br>オフ | CEC コントロールをオンにすると、本機のリモコン（方向キー、決定ボタン、戻るボタン、ホームボタンなど）で入力信号のコンテンツを操作できます。本機の電源を入れる／切る時、接続されている HDMI 入力信号の電源も同期して入る／切れます。<br>ヒント：ARC/eARC を使用する場合は、本機能をオンにする必要があります。 |
| HDMI プラグアンドプレイ | オン<br>オフ | オンのとき、新しい入力信号が接続されると、本機は自動的に対応する入力信号に入ります。 |

## ファイルマネージャー

内蔵ストレージや外部接続機器内のファイルを確認できます。

| 機能 | 操作方法 | 説明 |
|---|---|---|

| | | |
|---|---|---|
| コピー | ① 決定ボタンを長押ししてファイルを選択 → 【コピー】を選択します。<br><br>② 移動先のフォルダへ進み、設定ボタンを長押ししてメニューを表示 → 【貼り付け】を選択します。 | ファイルをコピーします。コピーしたファイルは別の場所へ貼り付けることができます。<br><br>注意：ファイルマネージャーを終了すると、再度コピー操作が必要になります。 |
| 貼り付け | 移動先のフォルダ内：設定ボタンを長押ししてメニューを表示 → 【貼り付け】を選択します。 | コピーまたは切り取ったファイルを選択した場所に配置します。<br>注意：ファイルマネージャーを終了したすると、再度コピーやは貼り付けの操作が必要になります。 |
| 切り取り | 決定ボタンを長押ししてファイルを選択 → 【切り取り】を選択します | ファイルを別の場所へ移動させるために切り取ります。移動先で貼り付けを行ってください。<br>注意：ファイルマネージャーを終了すると、再度切り取り操作が必要になります。 |
| 削除 | 決定ボタンを長押ししてファイルを選択 → 【削除】を選択します。 | ファイルを削除すると復元できません。 |
| 名前の変更 | ① 決定ボタンを長押ししてファイルを選択 → 【名前を変更】を選択します。<br><br>② 新しい名前を入力 → 【完了】を選択します。 | |
| 新規フォルダ | 作成先のフォルダ → 設定ボタンを長押ししてメニューを表示 → 【新しいフォルダ】を選択します。 | 新しい空のフォルダを作成します。作成後すぐに名前を変更できます。 |

| | | |
|---|---|---|
| すべて選択 | 設定ボタンを長押ししてメニューを表示 → 【すべて選択】を選択します。 | 現在のディレクトリ内にあるすべてのファイルとフォルダを選択します。 |
| 複数選択 | ① 設定ボタンを長押ししてメニューを表示 → 【複数選択】を選択します。<br><br>② 決定ボタンを押してファイルを選択します。 | |

ファイルの閲覧と管理

| 機能 | 操作方法 | 説明 |
|---|---|---|
| 並べ替え | 設定ボタンを長押し → 【並べ替え方法】（名前 / 更新日時）を選択します。 | 異なる規則でファイルを並べ替えます。 |
| 表示モード | 設定ボタンを長押し → 【アイコン / 一覧モード】を選択します。 | 必要に応じて表示モードを切り替えます。 |
| ファイルを検索 | 設定ボタンを長押し → 【検索】をを選択します。 | ファイル名やキーワードの一部を入力して検索できます。 |

ファイル分類表示

| 機能 | 操作方法 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| 映像 | 主なビデオ形式（MP4、AVI、MKV など） | 「ビデオ」フォルダー内の動画ファイルを再生、またはプレビューできます。 |
| 音楽 | 主な音声形式（MP3、WAV、FLAC など） | 「音楽」フォルダー内の音声ファイルを再生できます。 |
| 写真 | 主な画像形式（JPG、PNG、GIF など） | 「写真」フォルダー内の画像ファイルをプレビューできます。 |
| 文書 | 主なドキュメント形式（DOC、PDF、XLS、TXT など） | 「ドキュメント」フォルダー内の文書ファイルを確認、または編集できます。 |

# 画面補正

| 設定項目 | 設定値 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| フォーカス | オートフォーカス | プロジェクターの焦点を自動で調整し、クリアな映像を保証します。 |
| | 手動フォーカス | 【左 / 右】方向キーを使って、手動で画面のピント（鮮明度）を調整します。 |
| | インテリジェントオートフォーカス | オンにすると、プロジェクターの移動時に自動で再フォーカス（ピント調整）を行い、クリアな映像を維持します。 |
| 自動台形補正 | - | ワンボタンで自動最適化を行い、画面の歪みをきれいな四角形に補正します。 |
| 手動台形補正 | - | 4 点台形補正を使い、手動で画面がきれいな四角形になるよう調整します。 |
| 台形補正設定 | 中断なしの自動台形補正 | 本機の移動や位置の変化を検知すると、システムが自動的に台形補正を行い、画面を常にきれいな四角形に保ちます。 |

| | | |
|---|---|---|
| | 起動時自動台形補正 | 本体の起動時に毎回、自動的に台形補正を行います。 |
| | 障害物自動回避 | 投写面にある障害物を自動的に認識し、回避します。 |
| | スクリーン自動アジャスト | スクリーンの枠を自動的に認識し、正確に合わせます。 |
| 光学ズーム＆レンズシフト | - | レンズの物理的な位置を直接調整し、画面の位置とサイズを調整します。すべて光学的に調整するため、デジタル処理によるトリミングや圧縮がなく、画質を損なうことなく調整できます。<br>光学ズームで画面を最小にした後はデジタルズームに切り替わり、デジタル画像処理技術によってさらに画面を縮小します。このとき、画面のデジタル的な切り出しと拡大を行うため、画質が低下します。 |
| 画面移動 | - | デジタルズームの範囲内で、画面を適切な位置に移動できます。 |
| 画面回転 | - | 画面の向きを回転させ、適切な角度に調整します。 |
| 壁色適応 | - | オンにすると、壁面の色を自動的に測定して色彩を補正します。最適な色再現を行うため、画面は自動的に最大輝度の状態に切り替わります。 |
| 色ムラ調整 | - | ゾーンごとの色微調整（絞り値と光学ズーム倍率の各組み合わせごとに色を調整してください） |
| レンズメモリー | - | ズームやレンズシフト位置を含む複数のレンズ設定を記憶します |
| 画面リセット | - | 投写画面を工場出荷時の初期位置に戻します。 |
| 水平設置補助 | - | プロジェクターの傾き（チルト角やローリング角）をリアルタ |

| | | |
|---|---|---|
| | | イムで表示し、水平な設置を補助します。 |
| 投写方式 | 自動<br>フロント投写<br>天吊りフロント投写<br>リア投写 | 設置位置や投写方向（天吊りや背面投写など）に合わせて、画面の反転を調整します。 |

# 明るさ・表示

| 設定項目 | 設定値 | 説明 |
|---|---|---|
| 環境光適応 | オン<br>オフ | 周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動で調整します。 |
| 明るさ | 1~10 | 本機（光学エンジン）の輝度出力を調整します。方向キーで光源の明るさを調整できます。 |
| アイリス | ダイナミックアイリス<br>f2.0<br>f3.0<br>f4.0<br>f5.5<br>f7.0 | アイリスの絞り値を調節し、明るさとコントラストの調整を行います。 |
| ピクチャーモード | 画質モードの説明を参照 | 好みに応じて、視聴するコンテンツに適したプリセットの画質モードを選択できます。 |
| プロフェッショナル設定 | プロフェッショナル設定の説明を参照 | プロフェッショナル設定から画質効果を調整します。 |
| 初期設定に戻す | - | 画質モードおよびプロフェッショナル設定の設定内容を、すべて工場出荷時の状態に戻します。 |
| 3D 設定 | 3D を無効化 | 3D 表示を無効にし、画面を通常の 2D モードに戻します。 |

| | | |
|---|---|---|
| | サイドバイサイド 3D | 左目用と右目用の映像を 1 つの画面に統合し、水平に配置して投写します。再生時に 3D 映像として表示します。 |
| | トップアンドボトム 3D | 上下の映像を 1 つの画面に統合し、垂直に配置して投写します。再生時に 3D 映像として表示します。 |
| | サイドバイサイド 3D から 2D 変換 | イドバイサイド 3D 映像をリアルタイムで通常の 2D 映像に変換して表示します。 |
| | トップアンドボトム 3D から 2D 変換 | トップアンドボトム 3D 映像をリアルタイムで通常の 2D 映像に変換して表示します。 |
| ゲームエンハンスモード | ゲームエンハンスモードの説明を参照 | HDMI でパソコンやゲーム機（PS5、Xbox、Switch など）を接続する際、ゲームエンハンスモードをオンにすることで、表示遅延を大幅に低減し、より滑らかな映像体験を得ることができます。 |
| スタイルフィルター | 多彩なスタイルオプション | 好みに応じて異なるスタイルフィルターを選択し、独特の視覚効果を楽しむことができます。 |
| カラーブレーキング軽減 | オフ<br>低<br>高 | オンにすると、カラーブレーキング（レインボーノイズ）を大幅に低減します。 |

# ピクチャーモード

好みに応じて、視聴するコンテンツに適した画質モードを選択できます。

| 設定値 | 説明 |
| --- | --- |
| 標準 | バランスの良い安定した色再現で、一般的な日常の視聴シーンに幅広く適しています。 |
| 映画 | 映画館のような色彩とコントラストを再現し、暗い部屋での映画鑑賞に適しています。 |
| スポーツ | 動きの速い映像を滑らかに表現し、スポーツ観戦などに適しています。 |
| フィルムメーカーモード | フィルムメーカーモードの信号を自動で識別し、制作者の意図通りの画質で再現します。 |
| IMAX Enhanced | Only for IMAX Enhanced<br>IMAX Enhanced コンテンツ専用の画質モードです。臨場感あふれる映像と専用のアスペクト比で映画を楽しめます。 |
| ISF（昼） | ISF 認定の画質校正が施されており、日中の明るい部屋での視聴に適しています。 |
| ISF（夜） | ISF 認定の画質校正が施されており、夜間の暗い部屋での視聴に適しています。 |
| パフォーマンス | 最も明るさを優先したモードです。長時間の使用には適していません。 |
| Dolby Vision ブライト | Dolby Vision 映像の入力時のみ<br>Dolby Vision 専用の画質モードで、明るい環境での視聴に適しています。 |
| Dolby Vision ダーク | Dolby Vision 映像の入力時のみ<br>Dolby Vision 専用の画質モードで、暗い環境での視聴に適しています。 |

ヒント：画質モードの設定は入力ごとに保存されます。HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3 で、画質モードおよびプロフェッショナル設定を個別に設定できます。

## プロフェッショナル設定について

| 設定項目 | 設定値 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| 輝度 | 0~100 | 信号処理によって画面全体の明るさのニュアンスを調整します。 |
| コントラスト | 0~100 | 画面の最も明るい部分と最も暗い部分の輝度差（コントラスト）を調整します。 |
| 彩度 | 0~100 | 色の鮮やかさを調整します。 |
| シャープネス | 0~100 | 映像の輪郭の鮮明度を調整します。 |
| MEMC（モーション補正） | オフ<br>弱<br>中<br>強<br>オリジナルフレーム | フレーム補間技術により、動きのある映像を残像感やゆがみのない滑らかな映像に仕上げます。<br><br>オリジナルフレーム：フレームレートの変換によるゆがみや遅延を防ぐため、コンテンツのフレームレートのまま出力します。※24Hz ビデオにのみ有効です。 |
| 色温度 | スタンダード<br>シネマ<br>D65 | 映像の色調（寒色・暖色）を調整します。 |
| ホワイトバランス | 2 点ホワイトバランス<br>11 点ホワイトバランス | 赤・緑・青のバランスを調節し、白を自然な色調に整えます。<br>2 点ホワイトバランス：高輝度と低輝度の 2 点で色のバランスを調整し、色調をすばやく補正しま |

| | | |
|---|---|---|
| | | す。<br>11 点ホワイトバランス：11 の輝度領域で個別に色のバランスを調整し、正確な色再現を実現します。 |
| カラースペース | オリジナル<br>BT2020<br>DCI-P3<br>Rec709 | コンテンツに合わせて適切な色域規格を選択します。 |
| カラー最適化 | オン<br>オフ | 映像を自動で分析し、色彩の階調と彩度を高めることで、より鮮やかな映像にします。 |
| カラー補正 | オン<br>オフ | 各色（単色）の色相、彩度、明るさを個別に調整します。 |
| ガンマ | 1.8～2.6（デフォルト 2.2）<br>ST.2084（HDR） | 輝度分布曲線を調節し、中間階調の明るさの表現を変更します。 |
| HDR 拡張 | HDR ダイナミックトーンマッピング<br>スクリーンサイズ<br>スクリーンゲイン | HDR コンテンツにおいて、明るいハイライトと深みのある暗部を同時に表現し、より豊かなディテールを描写します。HDR 信号を検出すると自動的に「HDR 拡張」がオンになりますが、手動でオフにすることもできます。<br>スクリーンサイズ、スクリーンゲイン：ご使用のスクリーンのサイズとゲインを設定することで、最適な HDR トーンマッピングを行います。 |
| ローカルコントラスト | オン<br>オフ | 画面のエリアごとにコントラストを調整してディテールをより鮮明に再現し、ダイナミックレンジの広いコンテンツに最適な映像表現を行います。 |
| ダイナミックコントラスト | オン<br>オフ | 映像コンテンツに応じてバックライトとコントラストを自動調整し、明暗の表現力を高めます。 |

| | | |
|---|---|---|
| AI コントラスト | オン<br>オフ | AI が映像を分析してコントラストを自動調整し、さまざまなシーンに適合させます。※SDR ビデオにのみ有効です。 |
| ダイナミックブラックレベルの強調 | オン<br>オフ | 暗部の階調を深め、暗部ディテールと画面のコントラストを高めます。 |
| ノイズ軽減 | オン<br>オフ | 映像内のざらつきやノイズを低減し、よりクリアで滑らかな映像にします。 |
| 超解像度 | オン<br>オフ | 低解像度コンテンツの解像感を高め、高精細な映像に近づけます。 |
| 初期設定に戻す | - | 上記のすべての設定内容を工場出荷時の状態に戻します。 |

## ゲームエンハンスモードについて

HDMI でパソコンやゲーム機（PS5、Xbox、Nintendo Switch など）を接続している際、ゲームエンハンスモードをオンにすると、表示遅延を抑え、より滑らかな映像でゲームを楽しめます。

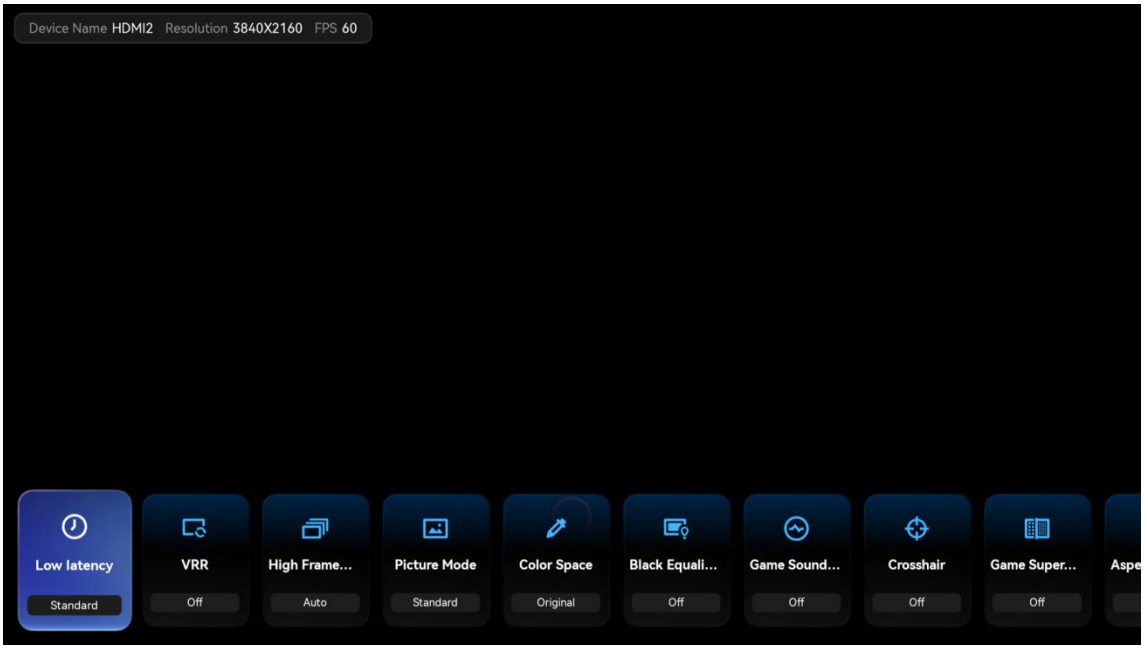
| 起動方法 | 起動方法の説明 |
|---|---|
| ゲームコンテンツを識別したとき（ALLM） | ゲーム機器が ALLM に対応している必要があります。対応していない場合は、「ゲーム機器を識別したとき」を選択し、設定を「オン」にしてください。 |
| ゲーム機器を識別したとき | ゲーム機器を識別したときに、自動的にゲームエンハンスモードがオンになります。 |

遅延の度合いや設置環境に合わせて、適切なゲームエンハンスモードを選択してください。

| ゲームモード | 推奨シーン | 画面補正の対応 |
|---|---|---|
| スタンダード | 画面補正を適用しながら低遅延でのプレイが可能なモードで、美しい画面調整と快適な応答速度を両立します。 | |

| | | |
|---|---|---|
| ブースト | 遅延を極限まで抑えた圧倒的なレスポンスにより、e スポーツなど一瞬の俊敏性が求められるプレイスタイルに最適です。 | |

# ゲームメニュー




ゲームエンハンスモード中にリモコンの設定ボタンを長押しすると、ゲームメニューを開いてさまざまなゲーム機能を利用できます。

| 設定項目 | 説明 |
| --- | --- |
| 低遅延 | ゲームエンハンスモードの機能です。遅延の度合いや設置環境に合わせて、適切な低遅延モードを選択してください。 |
| VRR | 入力信号のフレームレートに合わせてプロジェクターのリフレッシュレートを自動調整し、画面のカクつきやティアリング（画面の引き裂き現象）を抑えて、より滑らかな映像を再現します。 |
| 高フレームレートモード | オンにすると 120Hz/240Hz の信号入力に対応し、動きの激しい映像をより滑らかに表現します。 |
| 画質モード | スタンダード、FPS、RPG、RTS、スポーツなどのプリセット画質モードを搭載しており、ゲームのジャンルに合わせて色彩や明暗を最適化します。 |
| カラースペース | コンテンツの信号源に合わせて適切な色域規格を選択します。 |

| | |
|---|---|
| 暗部強調 | 映像の暗い部分の明るさを調整し、視認性を高めます。 |
| バーチャル照準器 | 画面中央に照準器を表示します。オンの状態で方向キーを押すと位置を調整でき、設定ボタンを長押しすると形状と色を、確定ボタンを長押しすると位置をリセットできます。 |
| ゲーム超解像 | 低解像度コンテンツの解像感を高め、高精細な映像に近づけます。 |
| アスペクト比調整 | 16:9、21:9、32:9 などのアスペクト比に切り替えられます。※接続機器側の出力設定も同時に変更する必要があります。 |
| 画面位置調整 | 21:9 または 32:9 のアスペクト比において画面の位置調整が可能です。リモコンの上・下ボタンを押して位置を調整します。 |
| フレームレート表示 | リアルタイムのフレームレートを表示します。表示位置は左、中央、右から選択できます。 |
| HDR 設定 | HDR 信号の入力時、メニュー内で「HDR ダイナミックトーンマッピング」または「HGiG」をオンにすることで、最適な明暗ダイナミックレンジを実現します。 |
| メニューテーマ | デフォルト、ニンテンドースイッチ、プレイステーション、エックスボックス、解限機（トランスフォーマー）などのメニューテーマを選択でき、手動選択または自動検出が可能です。 |

# ネットワーク

| 設定項目 | 設定値 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| Wi-Fi テザリング | オン<br><br>オフ | Wi-Fi 接続により、LAN ケーブルを使用せずにワイヤレスでインターネットに接続できます。本体を移動させる場合や、配線が困難な場所に設置する場合に便利です。<br>注意：<br>● Wi-Fi の電波が十分に届く場所に設置し、距離が遠すぎたり障害物で遮られたりしないようにしてください。<br>● ルーターが対応している場合は、より帯域幅が広く干渉の少ない 5GHz 帯の Wi-Fi を使用することをおすすめします。<br>● 接続に失敗した場合は、以下の方法をお試しください。<br>○パスワードが正しく入力されているか確認する<br>○本機またはルーターを再起動する<br>○ネットワークの登録を削除してから再接続する<br>● 公共の Wi-Fi（フリー Wi-Fi など）はセキュリティ上のリスクがあるため、利用には十分ご注意ください。 |
| 有線ネットワーク | | 有線 LAN ケーブル接続時のみ表示<br>LAN ケーブルで本機とルーターまたはスイッチングハブを接続することで、安定した低遅延の通信が行えます。高帯域幅が必要な場合や、通信の安定性を重視する場合に最適です。 |

操作手順

1. LAN ケーブルの一端を本機の LAN ポートに差し込み、もう一端をルーターまたはスイッチングハブに接続します。
2. [システム設定] > [ネットワーク] > [有線ネットワーク] の順に選択します。
3. 自動的に IP アドレスが取得され、接続されます。
4. 画面に「接続済み」と表示されれば、ネットワークサービスが利用できます。

注意：

- LAN ケーブルがしっかりと奥まで差し込まれ、コネクタに緩みがないか確認してください。
- 高速転送を行うため、CAT5e（カテゴリ 5e）以上の規格の LAN ケーブルを使用することをおすすめします。
- IP アドレスを自動取得できない場合は、設定を「手動設定」に切り替え、以下の項目を入力してください。
  - IP アドレス
  - サブネットマスク
  - ゲートウェイ
  - DNS サーバー

接続の優先順位

- 有線ネットワークと Wi-Fi が同時に接続されている場合は、有線ネットワークが優先されます。
- 有線ネットワークが切断された場合、本機は自動的に Wi-Fi へ切り替わります。

| | | |
|---|---|---|
| Wi-Fi テザリング | オン<br><br>オフ | Wi-Fi テザリング機能を使用すると、本機が接続しているネットワーク（有線または無線）を Wi-Fi 経由で他の機器と共有し、複数の機器で同時にインターネットを利用できます。Wi-Fi テザリングをオンにすると、本機がアクセスポイントとなり、他の機器から通常のルーターと同じように接続できるようになります。<br><br>注意：<br><br>◦接続元のネットワーク：Wi-Fi テザリング機能は、本機がすでに接続しているネットワーク（有線/無線）に依存します。ネットワークが不安定な場合、Wi-Fi テザリングの動作に影響します。<br>◦発熱とパフォーマンス：Wi-Fi テザリング機能をオンにすると、本体の消費電力と発熱量が増加します。風通しの良い環境で使用してください。<br>◦Wi-Fi との同時利用：本機で Wi-Fi 接続を行いながら同時にテザリングを利用すると、通信速度が低下する場合があります。<br>◦接続台数の制限：Wi-Fi テザリングに同時接続できる機器の最大台数には制限があります（機種によって異なります）。上限を超えた機器は接続できません。<br>◦セキュリティ：不正なアクセスやネットワークリスクを避けるため、第三者に推測されにくいパスワードを設定してください。 |

# Bluetooth とアクセサリー

| 設定項目 | 設定値 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| デバイスをさらに追加 | | 本機のデフォルトの Bluetooth デバイス名は「マイ TITAN Noir/Pro/Max」です。検出された Bluetooth 機器を「マイデバイス」に追加できます。<br>注意：<br>○通信範囲：Bluetooth の有効接続範囲は通常 10 メートル以内です。壁や家具などの障碍物により、信号品質が影響を受ける場合があります。<br>○同時接続台数：機器によって同時に接続できる Bluetooth 機器の台数には制限があります。環境によっては、オーディオ機器を 1 台しか接続できない場合があります。<br>○電波干渉：Bluetooth は 2.4GHz 帯の Wi-Fi と同じ周波数帯を使用するため、互いに干渉し合い、通信速度の低下や接続切れの原因となることがあります。<br>○ペアリング失敗時の対処：接続できないときは、ペアリング済みの機器を一度削除してから再検索するか、Bluetooth 機能を再起動してください。 |
| XGIMI Mate | ショートカット 1<br>ショートカット 2<br>ショートカット 3<br>ショートカット 4<br>ペアリング解除 | XGIMI リモコンを接続すると「XGIMI Mate」が表示され、各ショートカットの機能を設定できます。 |

| | | |
|---|---|---|
| マイデバイス | | 接続されたその他の Bluetooth 機器は「マイデバイス」に表示されます。 |
| Bluetooth 検出可能 | オン<br>オフ | 周囲の Bluetooth 機器から本機を検索できるようにします。近くのスマートフォン、パソコン、外部スピーカーなどから本機を検索してペアリング接続できるようになります。 |
| Bluetooth 絶対音量 | オン<br>オフ | 本機の音量と接続中の Bluetooth 機器の音量を連動して調節できるようにします（※接続する機器によっては、音量を調節できない場合があります）。<br><br>オンにした場合：<br>○本機の音量を調節すると、同時に Bluetooth 機器の音量も調節されます。<br>○Bluetooth 機器の音量が本機と常に同期します。<br>○どちらの機器からでも音量を調節でき、音量の変化がリアルタイムに同期します。<br><br>オフ（無効）にした場合：<br>○本機と Bluetooth 機器で、それぞれ個別に音量をコントロールします。<br>○本機側では「音声の出力音量」を調節し、ヘッドホンやスピーカー側では「機器自体の再生音量」を調節します。<br>○適切な音量にするには、それぞれの機器で個別に音量を調整してください。 |

# サウンド

| 設定項目 | 設定 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| 音量調整 | 0～100 | 音量を調節します。 |
| サウンドモード | AI サウンド<br>ミュージック<br>映画<br>ボーカル<br>スポーツ | お好みのサウンドモードに切り替えます。 |
| 拡張音響効果 | Harman Kardon<br>DTS Virtual:X<br>音量バランス | 音量バランス：システム内の異なる音声チャンネルの音量比率を個別に調整し、音声出力を最適化します。主に以下のシーンで有効です。<br><br>マルチチャンネルコンテンツにおいて、各チャンネルの音量の強弱を均一にします。<br>複数のスピーカーを接続した際に、各機器の出力音量を統一します。 |
| サウンド出力 | 自動<br>内蔵スピーカー<br>光デジタル<br>ARC<br>ヘッドホン<br>Bluetooth<br>音声出力フォーマット | 音声の出力方法を選択します。<br>音声出力フォーマット：音声出力先として「光デジタル」または「ARC」を選択した場合に設定できます。接続する音響機器に合わせて、音声出力フォーマットを選択します。選択するフォーマットによって音質や互換性が異なります。選択肢は以下の通りです。 |

| | | |
|---|---|---|
| | | PCM<br>音声を 2 チャンネルのステレオ音声にデコードして出力します。最も互換性に優れています。<br>パススルー（ビットストリーム）<br>音声信号をデコードせずにそのまま出力し、接続した AV アンプや外部スピーカー側でデコードします。Dolby や DTS などのサラウンド音声を楽しめます。<br>自動<br>接続されている機器の性能に応じて、最適なフォーマットが自動的に選択されます。 |
| eARC モード | 自動<br>オフ | 「自動」を選択し、HDMI 2.1 以上の規格のケーブルで eARC 対応 of スピーカーシステムと接続することで、より高音質な音声を出力できます。<br>注意：<br>•eARC 機能を利用するには、HDMI 2.1 規格のケーブル、および eARC 対応の音響機器が必要です。<br>•音声の遅延や映像との音ズレが発生する場合は、eARC モードを「オフ」に切り替えてください。<br>•映画やブルーレイの視聴時にオンにすると、臨場感のあるサラウンド音声を楽しめます。 |
| システムサウンド | オン<br>オフ | リモコンの操作やメニュー選択時の操作音（ビープ音）を設定します。 |

# 一般設定

| 設定項目 | 設定値 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| 概要 | デバイス名<br>デバイス情報<br>プライバシーポリシー | プライバシーポリシー：最新のプライバシーポリシー（個人情報保護方針）を確認できます。 |
| システムアップデート | オンラインアップデート<br>USB アップデート | オンラインアップデート：システムのバージョンが最新であるかを確認できます。新しいバージョンがある場合は、[ダウンロードして更新] を選択すると自動的にダウンロードとインストールが実行され、次回の起動時から新しいシステムが適用されます。<br>USB アップデート：<br><br>1.FAT32 形式でフォーマットされた USB メモリー（パーティション分割されていないもの）を用意します。<br>2.ファームウェアのデータを USB メモリーのルートディレクトリ（最上層）に保存し、本機の USB 2.0 ポートに接続します。<br>3.[システム設定] > [システムアップデート] > [USB アップデート] の順に選択し、画面の案内に従ってアップデートを完了します。 |
| 言語 | 多言語選択 | 簡体字中国語、英語、ドイツ語、フランス語、日本語、韓国語、スペイン語、イタリア語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、繁体字中国語など、ご使用になる環境に合わせてお好みの言語を選択で |

| | | |
|---|---|---|
| | | きます。 |
| ユーザー補助 | スクリーンリーダー<br>大きいフォントモード | スクリーンリーダー<br>有効にすると UI 要素を自動的に読み上げます |
| スマート視力保護機能 | オン<br>オフ<br>フォローモード<br>画面オフモード | センサーがレンズ前方の人物を検知し、投写光が直接目に入るのを防ぎます。強い光による眩しさを軽減するための機能です。<br>本機能を有効にすると、センサーがプロジェクターレンズの前方に人が入ったことを検知した際、光源を自動的に消灯して、強い光が直接目に入らないようにします。人がエリアから離れると、光源は自動的に元の状態に復帰します。<br><br>•連動モード：人の動きに合わせてリアルタイムにその部分の明るさだけを落とすため、他のエリアの視聴を妨げません。<br><br>•安心モード：人を検知すると、自動的に画面を消灯するか、または全画面を遮光します。人が離れるか、リモコンの [戻る]キー を押すと画面が復帰します。 |
| テーマスタイル | ライト<br>ダーク<br>ブルー | |
| 色覚補正 | オン<br>オフ | 色覚に特性のある方が、色の違いを判別しやすくするための色覚最適化機能を利用できます。 |
| シニア向けカラー最適化 | | シニア世代の視覚特性に合わせて色彩を最適化し、より快適な視聴体験を提供します。 |

| | | |
|---|---|---|
| シリアルポート制御 | | USB to RS232 変換アダプター（別売）を接続すると、RS232 通信（シリアルプロトコル）を介して外部機器から本機を制御できます。 |
| 詳細設定 | 電源設定<br>起動アニメーション<br>起動音<br>通電時自動起動<br>無操作時自動シャットダウン | |
| 初期化 | | すべての設定データや本体内のファイルを削除し、工場出荷時の状態に戻します。 |

# 05 お手入れ

**トラブルが発生したときの確認方法と、本機のお手入れ方法について説明します。**

- お手入れの前に
- お手入れ方法
- 故障かな？と思ったら

# お手入れの前に

お手入れの前に、必ず電源を切ってください。

電源を切るときは、必ず「プロジェクターの電源を切る」のセクションに記載されている手順に従って操作してください。

# お手入れ方法

お手入れ方法

外装：柔らかい乾いた布で汚れやホコリを拭き取ってください。

汚れがひどい場合は、水に浸して固く絞った布で汚れを拭き取った後、最後に乾いた布で水分を完全に拭き取ってください。

ベンジン、シンナー、アルコール、その他の溶剤や台所用洗剤は使用しないでください。外装が変質したり塗装がはげたりする原因になります。

化学ぞうきんを使用する場合は、そのパッケージに記載されている指示に従ってください。

レンズ：きれいで柔らかい布でレンズ表面の汚れやホコリを拭き取ってください。

毛羽立ちのある布、ホコリの付着した布、または油や水で湿った布は使用しないでください。

レンズ表面は傷つきやすいため、拭くときに力を入れすぎないでください。

注意：

レンズ表面にキズをつけたり、力を入れて拭いたりしないでください。レンズが破損する恐れがあります。取り扱いには十分ご注意ください。

ホコリの多い環境で使用すると、吸気口や排気口の周囲にホコリがたまることがあります。使用環境や動作条件によっては、本機内部の冷却・放熱が妨げられ、明るさが低下する原因になります。

# 故障かな？と思ったら

| こんなときは | 確認すること |
| --- | --- |

| | |
|---|---|
| 電源が入らない | 電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか。<br>コンセントに通電していますか。<br>光源インジケーターが点灯していますか |
| 映像が映らない | 外部機器と正しく接続されていますか。<br>入力が正しく切り替わっていますか。<br>接続している外部機器の電源が入り、正常に動作していますか。<br>[画面オフ]機能が有効になっていませんか。 |
| 映像がぼやける | [フォーカス調整]が正しく行われていますか。<br>適切な投写距離で設置されていますか。<br>レンズ表面に汚れ付着していませんか。 |
| 映像が暗い | 明るさの設定が低くなっていませんか。 |
| 映像の色が薄い、または色合いがおかしい | [設定] > [明るさとディスプレイ] > [プロフェッショナル設定] > [ホワイトバランス調整] が正しく調整されていますか。<br>接続している外部機器の画質調整は正しく設定されていますか。<br>接続ケーブルが断線または損傷していませんか。 |
| リモコンが作動しない | 電池が切れていませんか。<br>電池の「＋」「－」の向きは正しくセットされていますか。リモコンのバックライトは点灯しますか。<br>リモコンの操作範囲内にありますか。 |
| HDMI 入力の映像が映らない | ケーブルが長すぎませんか。【通常、HDMI ケーブルの長さは 10m を超えないようにしてください】<br>HDMI ケーブルがしっかりと接続されていますか。<br>入力された信号はプロジェクターに対応していますか。 |

# 06 付録

## 本機の仕様や外形寸法、その他の技術情報について説明します

- 主な仕様
- 外形寸法
- 天吊り金具に関する注意事項
- 環境への取り組みについて
- 技術情報

# 主な仕様

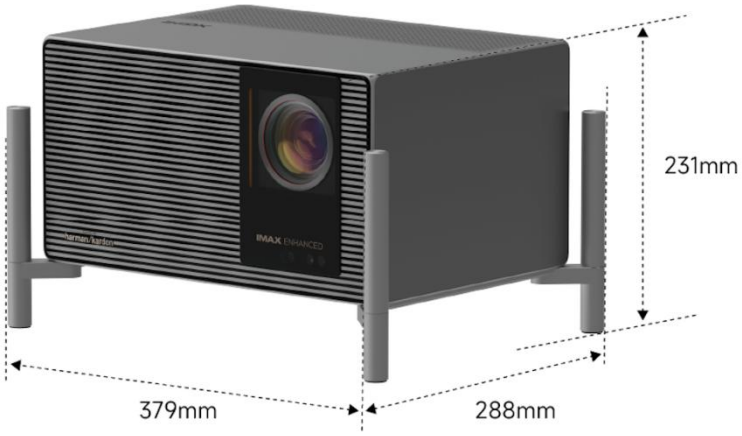
| 項目 | TITAN Noir Max | TITAN Noir Pro | TITAN Noir |
|---|---|---|---|
| 種類 | ホームプロジェクター | ホームプロジェクター | ホームプロジェクター |
| 光源 | RGB 3 色レーザー | RGB 3 色レーザー | RGB 3 色レーザー |
| 投写方式 | DLP 方式 | DLP 方式 | DLP 方式 |
| 表示素子 | 0.47 インチ DMD (SST) | 0.47 インチ DMD (SST) | 0.47 インチ DMD (SST) |
| 3D | 対応 | 対応 | 対応 |
| 対応フォーマット | HDR 10+, IMAX Enhanced, Dolby Vision | HDR 10+, IMAX Enhanced, Dolby Vision | HDR 10+, IMAX Enhanced, Dolby Vision |
| 低遅延モード | （ゲームモード、自動台形補正オフ時）<br>1ms（1080p@240Hz）<br>2.2ms（1080p@120Hz）<br>3ms（4K@60Hz） | （ゲームモード、自動台形補正オフ時）<br>1ms（1080p@240Hz）<br>2.2ms（1080p@120Hz）<br>3ms（4K@60Hz） | （ゲームモード、自動台形補正オフ時）<br>1ms（1080p@240Hz）<br>2.2ms（1080p@120Hz）<br>3ms（4K@60Hz） |
| MEMC | 対応 | 対応 | 対応 |
| 明るさ | 7,000 ISO ルーメン | 6,000 ISO ルーメン | 4,800 ISO ルーメン |
| 標準解像度 | 3840 × 2160 | 3840 × 2160 | 3840 × 2160 |
| 対応解像度 | / | / | / |
| 色域 | BT.2020 110% | BT.2020 110% | BT.2020 110% |

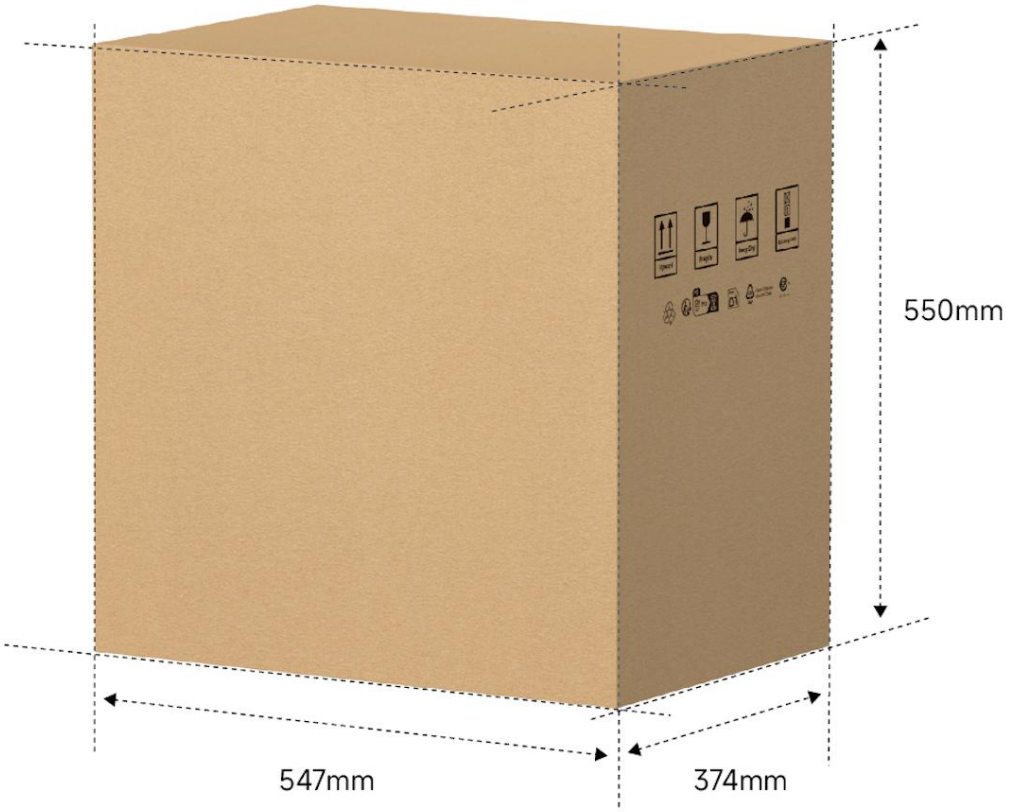
| | | | |
|---|---|---|---|
| コントラスト比 | 最大 10,000:1（ネイティブ）<br>最大 100,000:1（ダイナミック） | 最大 8,000:1（ネイティブ）<br>最大 100,000:1（ダイナミック） | 最大 7,000:1（ネイティブ）<br>最大 100,000:1（ダイナミック） |
| レンズ | 高透過率コーティングレンズ | 高透過率コーティングレンズ | 高透過率コーティングレンズ |
| アイ・プロテクション | 対応 | 対応 | 対応 |
| 自動台形補正 | ノンストップ自動台形補正 | ノンストップ自動台形補正 | ノンストップ自動台形補正 |
| フォーカス | オートフォーカス | オートフォーカス | オートフォーカス |
| スクリーン自動合わせ | 対応 | 対応 | 対応 |
| 自動障害物回避 | 対応 | 対応 | 対応 |
| レンズシフト | 垂直：±130% / 水平：±50% | 垂直：±130% / 水平：±50% | 垂直：±130% / 水平：±50% |
| 光学ズーム | 対応 | 対応 | 対応 |
| デジタルズーム | 対応 | 対応 | 対応 |
| 投写比 | 0.98-2.0:1 | 0.98-2.0:1 | 0.98-2.0:1 |
| アスペクト比 | 16:9 | 16:9 | 16:9 |
| 投写方法 | フロント / リア / 天吊りフロント / 天吊りリア | フロント / リア / 天吊りフロント / 天吊りリア | フロント / リア / 天吊りフロント / 天吊りリア |
| 画面サイズ | 40 型 - 300 型 | 40 型 - 300 型 | 40 型 - 300 型 |
| CPU | MT9681 | MT9681 | MT9681 |
| GPU | Mali G57 | Mali G57 | Mali G57 |
| RAM | 4GB | 4GB | 4GB |
| ストレージ | 64GB | 64GB | 64GB |
| システム | OS 非搭載 | OS 非搭載 | OS 非搭載 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 高速起動 | 対応（STR） | 対応（STR） | 対応（STR） |
| ミラーリング | / | / | / |
| スピーカー | 2 x 12W Harman/Kardon | 2 x 12W Harman/Kardon | 2 x 12W Harman/Kardon |
| DTS Virtual:X | 対応 | 対応 | 対応 |
| DTS-HD | 対応 | 対応 | 対応 |
| Dolby Atmos | / | / | / |
| Dolby Digital (DD) | 対応 | 対応 | 対応 |
| Dolby Digital Plus (DD+) | 対応 | 対応 | 対応 |
| WiFi | WiFi 6 Dual-band 2.4/5GHz, 802.11a/b/g/n/ac/ax | WiFi 6 Dual-band 2.4/5GHz, 802.11a/b/g/n/ac/ax | WiFi 6 Dual-band 2.4/5GHz, 802.11a/b/g/n/ac/ax |
| Bluetooth | Bluetooth 5.2 | Bluetooth 5.2 | Bluetooth 5.2 |
| 入力端子 | DC x 1 | DC x 1 | DC x 1 |
| | HDMI x 3 (HDMI 1 は eARC 対応) | HDMI x 3 (HDMI 1 は eARC 対応) | HDMI x 3 (HDMI 1 は eARC 対応) |
| | USB 3.0 x 1, USB 2.0 x 1 | USB 3.0 x 1, USB 2.0 x 1 | USB 3.0 x 1, USB 2.0 x 1 |
| | LAN × 1（ギガビット対応） | LAN × 1（ギガビット対応） | LAN × 1（ギガビット対応） |
| 出力端子 | 光デジタル出力 × 1 | 光デジタル出力 × 1 | 光デジタル出力 × 1 |
| | オーディオ出力 × 1 | オーディオ出力 × 1 | オーディオ出力 × 1 |
| 駆動音 | 28dB 以下（1m） | 28dB 以下（1m） | 28dB 以下（1m） |
| 消費電力 | 360W 以下 | 300W 以下 | 300W 以下 |
| 電源 | AC100-240V, 50/60Hz | AC100-240V, 50/60Hz | AC100-240V, 50/60Hz |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 外形寸法（H × W × D） | 178 × 334 × 248 mm（スタンド含：231 × 379 × 288 mm） | 178 × 334 × 248 mm（スタンド含：231 × 379 × 288 mm） | 178 × 334 × 248 mm（スタンド含：231 × 379 × 288 mm） |
| 製品重量 | 8.1 kg | 7.6 kg | 7.5 kg |
| 外箱寸法（H × W × D） | 300 × 450 × 350 mm | 297 × 473 × 468 mm | 297 × 473 × 468 mm |
| 梱包重量 | 15.4 kg | 11.3 kg | 11.2 kg |
| 電源ケーブル | x1 | x1 | x1 |
| 外部電源アダプター | x1 | x1 | x1 |
| 取扱説明書 | x1 | x1 | x1 |
| 保証書 | x1 | x1 | x1 |
| リモコン | バックライト内蔵 Bluetooth リモコン × 1、単 4 形乾電池 × 2 | バックライト内蔵 Bluetooth リモコン × 1、単 4 形乾電池 × 2 | バックライト内蔵 Bluetooth リモコン × 1、単 4 形乾電池 × 2 |

# 外形寸法



# 天吊り金具設置時の注意事項

プロジェクターを天井に設置するときは、必ず XGIMI 推奨の天吊り金具を使用してください。

•天吊り金具を取りつけるときは、六角レンチでプロジェクター底面のネジを取り外し、金具をプロジェクターの取りつけ穴に合わせて設置してください。

•プロジェクターを天井に取りつけるなど、高所への設置工事は、安全のため必ずお買い上げの販売店または専門の業者にご依頼ください。

• 保証期間内であっても、XGIMI 推奨以外の天吊り金具の使用、または取りつけ位置の不備などによって生じた製品の故障や破損、不具合について、XGIMI は一切の責任を負いかねます。

•使用しない場合は、落下の危険を防ぐため、専門の業者に依頼して速やかに本機を取り外してください。

•詳細については天吊り金具の取扱説明書をよくお読みいただき、金具の最大耐荷重や取りつけネジの長さなどが、本機に適合していることを必ずご確認ください。

# RS-232C コマンド集

| 機能 | 説明 | コマンド |
|---|---|---|
| 入力ソース切り替え（本機の入力ソースを指定） | HDMI 1 | 2A 2A02010104 |
| | HDMI 2 | 2A 2A02010205 |
| | HDMI 3 | 2A 2A02010306 |
| | USB | 2A 2A02011417 |
| 画像モード切り替え | スタンダード | 2A 2A02032305 |
| | シネマ | 2A 2A02031D05 |
| | スポーツ | 2A 2A0203090E |
| | FILMMAKER MODE | 2A 2A02031B20 |
| | IMAX Enhanced | 2A 2A02030207 |
| | ISF Day | 2A 2A0203262B |
| | ISF Night | 2A 2A0203272C |
| | パフォーマンス | 2A 2A0203050A |
| 明るさ設定（明るさレベル 1～10 の設定） | 明るさ 1 | 2A 2A02050108 |
| | 明るさ 2 | 2A 2A02050209 |
| | 明るさ 3 | 2A 2A0205030A |
| | 明るさ 4 | 2A 2A0205040B |
| | 明るさ 5 | 2A 2A0205050C |
| | 明るさ 6 | 2A 2A0205060D |
| | 明るさ 7 | 2A 2A0205070E |
| | 明るさ 8 | 2A 2A0205080F |
| | 明るさ 9 | 2A 2A02050910 |
| | 明るさ 10 | 2A 2A02050A11 |

| | | |
|---|---|---|
| 工場出荷時の設定に復元 | アプリを保持せずに工場出荷時の状態に復元 | 2A 2A02060008 |
| リモコンキーのシミュレーション | 電源 | 2A 2A02070009 |
| | 入力切替 | 2A 2A02070811 |
| | 方向キー（上） | 2A 2A02070912 |
| | 方向キー（下） | 2A 2A02070A13 |
| | 方向キー（右） | 2A 2A02070B14 |
| | 方向キー（左） | 2A 2A02070C15 |
| | 確定 | 2A 2A02070D16 |
| | 戻る | 2A 2A02070E17 |
| | 設定 | 2A 2A02070F18 |
| | ホーム | 2A 2A02071019 |
| | 音量＋ | 2A 2A0207111A |
| | 音量－ | 2A 2A0207121B |
| | オートフォーカス | 2A 2A0207141D |
| | 消音 | 2A 2A0207151E |
| ウェイクアップ | ウェイクアップ | 2A 2A070977 61 6B 65 75 70 9D |
| 画面オン/オフ | 画面オフ | 2A 2A020D000F |
| | 画面オン | 2A 2A020D0110 |
| 高リフレッシュレートモード設定 | オフ | 2A 2A020E0010 |
| | 標準 | 2A 2A020E0111 |
| | 高速 | 2A 2A020E0212 |